

第8章 関係詞

主語も動詞もある文章が名詞を修飾する形容詞と同じ働きをするもの。

第1節 使い方

(例) 私が駅で会った 男の子 は、私の弟です。 「私が駅で会った」が「男の子」という名詞を修飾する

the	修飾される名詞	関係代名詞	<u>S + V</u> .
		訳:	<u>S + V</u> の 修飾される名詞

	主格	所有格	目的格
人	who	whose	whom
もの	which	whose	which
人・もの両方			
先行詞に最上級 the firstなど	that		that
things which	what		what

①まず最初に修飾される名詞を書いて、関係代名詞のスペースを空けておくこと。

②次に形容詞の働きをする文章を書く。ただし、その形容詞の働きをする文章の中に修飾される名詞を代名詞の形で（は・が<主格> / の<所有格> / を・に・で<目的格>）入れ込んで書くこと。

③その代名詞に合わせて関係代名詞を入れる。

④最後にその代名詞を消すこと。

注意 関係詞は目的格は省略可能

(例)私が駅で会った男の子は私の弟です。

The boy _____ is my brother.

(私は 駅で会った。)

(例)これは私が犬を買った店です。

This is the shop _____.

(私は 犬を買った。)

(例)彼女は英語を話せる女の子です。

She is the girl _____.

(英語を話せます。)

(例)窓が大きい家は私の家です。

The house _____ is mine.

(窓が大きい)

第2節 of which = whose

所有格whoseを使う場合で修飾される名詞が物の場合、修飾される名詞がかかる名詞にtheをつけて修飾される名詞の直後に位置させることによってwhoseをof whichに書く変えることができる。

the 修飾される名詞 whose 名詞 S + V .

the 修飾される名詞 the 名詞 of which S + V .

(例)頂上が雪で覆われている山は富士山です。

The mountain _____ is Mt.Fuji.

(頂上が雪で覆われている。)

The mountain the top of which is covered with snow is Mt.Fuji.

(例)彼は私たちが公園で会った男の子の父親です。He is the father whose **boy** we saw in the park.

注意 所有格の用法では修飾される名詞は関係詞の直後に置くこと。

第3節 what

修飾される名詞things / the which と関係代名詞whichが1つになったもの。

things)	which S+V	=	what S+V	SがVするもの/こと
the thing					

(例)私は君が欲しいものを知っている。 I know the thing which you want.
 = I know what you want.

注意

名詞節の1つである疑問詞 S + V のwhat S + V <Sが何をVするか> と区別すること。

上の例文はどちらでも可能（私は君が何を欲しいか知っている。）だが、下の例文は関係詞のみ意味を持つ。

(例)君が持っているものは私のものです。

The thing which you have is mine. = What you have is mine.

A is to B what C is to D. AのBに対する関係はCのDに対する関係と同じである。

What is called / what you call / what we call いわゆる

what is more さらに・その上

what is worse さらに悪いことには

what with A and (what with) B AやらBやらで

what A is 現在のA

what A was / what A used to 過去のA

(例)彼と彼女の関係は先生と生徒の関係と同じである。

He is to her what a teacher is to a student.

(例)彼女はいわゆるホームドクターである。

She is what is called a homedoctor.

(例)雨やら雪やらで彼女は泣き出した。

What with rain and snow , she began to cry.

(例)彼は頭が良くその上良い男である。

He is smart , what is more , a good man.

第4節 制限用法・非制限用法

(例)She has three daughters who are singing a song every day.

修飾される名詞

形容詞の働きをする文

彼女は毎日歌を歌っている3人の娘がいる。

制限用法 the 修飾される名詞 関係詞 S + V (形容詞の働きをする文)

訳 : S + V (形容詞の働きをする文) の 修飾される名詞

非制限用法 A + V the 修飾される名詞 , 関係代名詞 S + V.

訳 : A はVする。 and / but / because + 先行詞の代名詞 + S はVする。

(例)She has three daughters , who are singing a song every day.

彼女は3人の娘がいて、そして彼女たちは毎日歌を歌っています。

(例)She received a long letter which she threw away.

彼女は彼女が捨てた長い手紙を受け取った。

(例)She received a long letter , which she threw away.

彼女は長い手紙を受けた取ったが、しかし彼女はそれを捨ててしまった。

(例)The milk which is by the window turned sour.

窓のそばのミルクは酸っぱくなった。

(例)The milk , which is by the window , turned sour.

ミルクは窓のそばにあったので酸っぱくなった。

注意 , which A+V (=,as A+V)がその前の文全体を **and / but / because + そのこと** として指す場合がある。このときas は文頭でも使用可能。

(例)She said she was ill , which was not true.

彼女は彼女が病気であると言っていたが、そのことは本当ではなかった。

(例)As was expected , she didn't come here.

彼女はここに来なかったが、それは予期されていた。

注意2 非制限用法では、thatは使用できない。

(例) Jean visited Mrs. Brown, (which / who / that) welcomed her warmly.

第5節 関係形容詞

A + V ~ , which 名詞 S + V. AはVする (そして/しかし) この名詞をSはVする

(例) I received a letter written in French , which language was too difficult for me to read.

私はフランス語で書かれた長い手紙を受け取ったが、その言語は難しすぎて私には読めなかった。

A + V ~ what little / few 名詞 S + V. Aは、SがVする全ての名詞をVする

(例) I'll give you what little money I have now.

私が今持っている全てのお金を君にあげましょう。

第6節 ~ of 関係詞

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>one</p> <p>some</p> <p>all</p> <p>neither</p> <p>both</p> <p>none</p> </div> <div style="font-size: 2em;">}</div> </div>	of 関係代名詞 (目的格)	先行詞の名詞 の内の 一つ
		先行詞の名詞 の内の いくつか
		先行詞の名詞 の内の 全て
		先行詞の名詞 のどちらも～ない
		先行詞の名詞 の両方とも～
		先行詞の名詞 の内のどれも～ない

関係詞の部分修飾される名詞に置き換えて訳すこと。

(例) She came back to home to feed the cats , one of which was wounded.

彼女は猫たちにえさをあげるために家に戻ったが、その猫の内の一匹がけがをしていた。

(例) He lent me some books , none of which I have yet read.

彼は私に何冊か本を貸してくれたが、私はその本の内のどれも、まだ読んでない。

第7節 関係代名詞+挿入節

関係代名詞の後ろに I believe / hear / know / think などが入る場合もある。関係代名詞の格に注意する

(例) She is the girl who can speak English. 彼女は英語を話せる女の子です。

She is the girl who I believe can speak English. 彼女は英語を話せると私が信じている女の子です。

第8節 関係代名詞 that

I 普通の関係詞と同じ使い方

修飾される名詞が人でも物でもどちらでも使用可能な関係代名詞。

(例)彼は私が駅で会った男の子です。

He is the boy that (= whom) I met at the station.

II thatを使わなければいけない場合

先行詞に最上級 / the first / the last / the very / the only / every / no / little / much / all / any
the same / 人と物との両方が含まれる場合 / 主節に疑問代名詞 が含まれている場合

(例)彼は私が駅で会った最初の男の子です。

He is the first boy that I met at the station.

(例)公園で走っている女の子と犬を見なさい。

Look at the girl and the dog that are running in the park.

(例)英語を話せる女の子は誰ですか

Who is the girl that can speak English ?

the same 名詞 that A + V. (同一物)

the same 名詞 as A + V. (同種物)

(例)私は姉が使っているのと同じ辞書を使っています。

I use the same dictionary **that** my sister uses. (1冊の辞書を2人で持っている)

I use the same dictionary **as** my sister uses. (2冊の辞書をそれぞれ持っている)

S + V the 最上級+名詞 that A have ever p.p.

S + V 比較級 than any other 単数名詞 that A have ever p.p.

A have never p.p. such a 形容詞+名詞 as S. SはAが今まで~した中で最も~な名詞です。

(例)彼女は私が今まで会った中で最も美しい女性です。

She is the most beautiful lady that I have ever met.

She is more beautiful than any other lady that I have ever met.

I have never met such a beautiful lady as she.

第9節 関係副詞

修飾される名詞が前置詞の目的語の時(前置詞が余る場合①)、前置詞を関係詞の前に置くことができる。(②)

なお、この前置詞+関係代名詞の時には、thatを使用できない。そして、この前置詞+関係代名詞が

場所を意味するときは where

時間を意味するときは when

理由を意味するときは why

方法を意味するときは how

に書き換えることができる。(③) これを関係副詞と呼ぶ。

さらに、このとき、修飾される名詞が

場所 the place

時間 the time

理由 the reason

のときには、修飾される名詞そのものを省略することができる。(④)

(例)これは私が犬を買った店です。

This is the shop which I bought a dog at. (①)

This is the shop at which I bought a dog . (②)

This is the shop where I bought a dog. (③)

(例)あなたは私が生まれた場所を知っていますか

Do you know **the place** which I was born in? (①)

Do you know **the place** in which I was born ? (②)

Do you know **the place** where I was born ? (③)

Do you know where I was born ? (④)

(例)私は彼女がここに来る時間を知らない。

I don't know **the time** which she came here at. (①)

I don't know **the time** at which she came here. (②)

I don't know **the time** when she came here. (③)

I don't know when she came here. (④)

(例)私は彼女がここにいる理由を知らない。

I don't know **the reason which** he is here **for**. (①)

I don't know **the reason for which** he is here. (②)

I don't know **the reason why** he is here. (③)

I don't know **why** he is here. (④)

(例)私に君が英語を勉強する方法を教えてください。

Please tell me **the way which** you study English **by**. (①)

Please tell me **the way by which** you study English. (②)

Please tell me **the way** you study English. (③)

Please tell me **how** you study English. (④)

注意

関係副詞howについては、the wayとhowは同時には使用できないため、the way A+V(③)か、how A+V(④)のどちらかを使用すること。